



令和2年度 学校経営方針

アクティブな学校・チーム箱崎

福岡市立箱崎中学校
校長 池田 昌弘

1 学校教育目標

「友達と支え合い競い合い 生き生きと学習する生徒の育成」

校訓

- 叡智…自ら徹底的に学び考える生徒
- 闘魂…強靱な意志力を培い、やり遂げるまで頑張る生徒
- 友愛…自分の責任を果たし、進んで友達と協力する生徒

2 めざす学校像・生徒像・教師像

(1) めざす学校像	(2) めざす生徒像	(3) めざす教師像
①生徒が楽しく、存在感を実感できる学校 ②校舎が美しく、安心・安全な学校 ③基礎学力や「生きる力」を身につけさせ進路を保障する学校 ④地域とともに成長し、保護者・地域から信頼される学校	①すすんで挨拶・掃除ができる生徒 ②目標をもち、学習や行事等に生徒同士団結し、真剣に取り組む生徒 ③差別を見抜き、差別を許さない、たくましい実践力のある生徒 ④自己有用感を高め、コミュニケーション力を培う生徒	①生徒にメリハリ（優しく、厳しく、温かく）をもって接する教職員 ②協調・協働の思いをもち、校長・教頭・主幹教諭や主任主事を中心に教育活動に励む教職員 ③課題意識をもち、職能成長をめざす教職員 ④保護者や地域社会との連携を密にし、信頼される教職員

3 教育課題

(1) 学習面	(2) 生活面
①学習規律・基礎学力の定着と学力向上 ②自ら学ぶ意欲の向上と学習習慣の育成(家庭学習の習慣化) ③思考力・判断力・表現力の育成	①基本的な生活習慣を身につけた生徒の育成 (挨拶・掃除・時間の厳守・言葉遣い・ルールの遵守等) 『時を守り 場を清め 礼を正す』 ②いじめ防止、不登校の未然防止と不登校生徒の学校復帰

4 経営課題

(1) わかる授業の創造と家庭学習の充実	(2) 活力ある生徒指導体制の確立	(3) 保護者・地域に信頼される学校作りの推進
①教師の授業力向上の為の取組 ②家庭学習習慣の定着の為の取組 ③学びあいの導入による思考力・判断力・表現力の育成	①チームによる組織的な生徒指導 ②学校行事を活用した積極的な生徒指導 ③アンケート・Q-Uテストの有効活用	①生徒の進路保障の為の取組 ②地域行事への組織的・計画的な参加 ③開かれた学校作りのための情報発信

5 教育目標達成のための重点「箱中魚」

- (1) 「確かな学力の向上」：新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善を実施し、主体的・対話的で深い学びの実現
- ①校内研修（理論研究・検証授業）の充実によって教師の授業力の向上を図る
 - ②教科部会を充実させ、協力して教材研究を行うとともに教材をデータベース化し、共有財産として活用する
 - ③学習規律を確立させるために共通実践を行うとともに、学力分析を基に基礎・基本の学力を定着させる取り組みを推進する
 - ④「箱崎ノート」を活用して、家庭学習の習慣化を図る
 - ⑤全教科で学習過程に「学びあい」を取り入れ、思考力・判断力・表現力を養う
 - ⑥ICTを活用した授業の充実を図る
 - ⑦読書活動の活用を図る
- (2) 「豊かな人権感覚と道徳性の育成」：教育活動全体を通じた人権教育や考え、議論する道徳教育の推進
- ①教師自らも人権感覚を磨き、すべての教科の授業を通して、人権意識を育てる
 - ②道徳、学級活動等、日常のあらゆる場面で、人権尊重・生命尊重の精神を培うとともに、人としての生き方にせまる教育を推進する
 - ③「がん教育」・「認知症学習」を推進する
 - ④場に応じた挨拶、黙清掃の指導を徹底する（「時を守り 場を清め 礼を正す」）
- (3) 「健やかな体の育成」：生涯にわたって心身の健康を保持増進していく力の育成
- ①運動に親しむことを通して体力向上の取り組みを充実する（保健体育の授業の充実・運動部活動の活性化）
 - ②生徒一人一人の心に響く学校行事等、教育活動を充実させる（「箱中3大行事」体育大会・クラスマッチ・合唱コンクール）
 - ③栄養教諭を活用した「食育」の推進（給食指導の充実）
 - ④PTA行事や地域活動への積極的な参加を推進する（地域の一人活動）
 - ⑤道徳・学活・総合的な学習の時間等を中心に、教育課程全般を通して、生徒の強い心を育成する。
- (4) 「いじめ・不登校等の未然防止・早期発見・早期対応」：小中連携した取り組みと関係機関との連携
- ①毎月10日「いじめゼロの日」にいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応を行う
 - ②小中連携した情報交換とケース会議の開催による問題の早期解決を図る
 - ③進路を見据えた個別の支援計画をもとにステップルームの運営を行い、不登校生徒の早期復帰を目指す
 - ④SSW・SC・関係機関と連携した生徒支援を行う
 - ⑤Q-Uテストの結果を分析し、指導に活用する
- (5) 「特別支援教育の推進」：一人一人の教育的ニーズを把握した適切な指導及び必要な支援の推進
- ①教職員の特別支援教育への理解を深める研修を実施する
 - ②生徒のニーズに応じた支援計画の作成と支援を展開する
 - ③ユニバーサルデザインの考えを取り入れた教育を推進する
- (6) 「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」：グローバル社会に対応できる力の育成と職業的・社会的自立の基礎となる資質・能力の育成
- ①「立志式」「意見発表会」「社会人講話」等へ向けた取り組みの充実を図る
 - ②総合的な学習の時間を活用したキャリアウィークと国際理解教育の充実を図る
 - ④全学年で「進路説明会」を実施し、進路保障の為の取り組みの充実を図る
- (7) 「読書活動の推進」：確かな学力の向上及び豊かな心の育成
- ①学校図書館の「読書・学習・情報」センターとしての機能を充実する
 - ②朝読書タイムの充実を図る
 - ③生徒会活動を活用した「ライブラリーフェア」等を実施する
 - ④生徒の読み上げ冊数の数値目標を決め、具体的な指導と評価を行う
- (8) 「基本的生活習慣の育成に徹底した生徒指導の推進」：チームワーク・ネットワーク・フットワーク
- ①組織体として全校生徒を全職員で育てる意識を持ち、機能的な生徒指導体制を確立する
 - ②全職員が「共通実践」を通して「共通理解」を行う
 - ③生徒の人権を大切にしたい体罰によらない「迅速・正確・丁寧」な生徒指導を推進する
 - ④毎月1日の「安全の日」に安全点検を行い、施設の営繕と環境美化に努め、安全で明るく潤いのある学校づくりを推進する